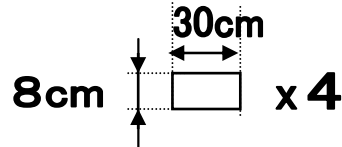


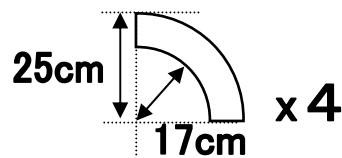
● 手順 1 : マークの作成

必要なマークを作成します。

- ① 5mマーク (ライン幅8cm、長さ15cm)



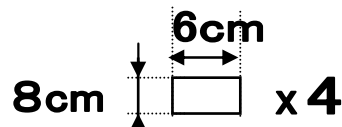
- ② コーナーアーク (ライン幅8cm、半径25cmの1/4円)



- ③ センター・ペナルティースポット (直径20cmの円)



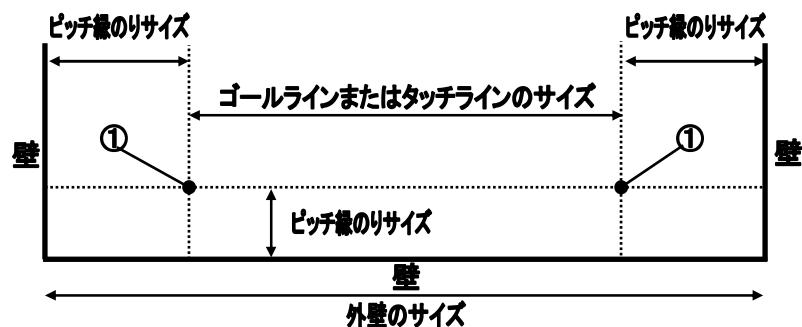
- ④ 第2ペナルティーマークからの5mマーク



本来は 6cm x 6cm だが、テープ幅が 8cm の為、簡易作成として記載

● 手順 2 : 四隅のポイントの測りだし

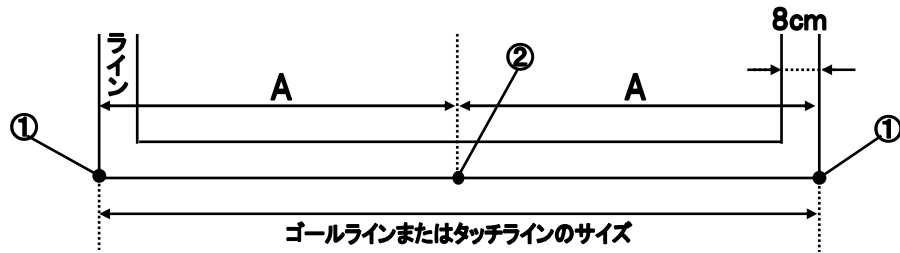
ゴール・オフィシャル席・ベンチ・その他障害物等を考慮に入れ、外壁のサイズからゴールライン、タッチラインのサイズを引き、『縁のりのサイズ』を計算後、計測、四隅のポイント①をとります。
また、四隅のポイントの距離を計測し、確認します。



注意事項 : 縁のりは、ゴールの幅、外壁との安全な距離、オフィシャル席・ベンチ...等を考慮する。
体育館の場合、バスケットゴールのリンク...等空中に飛び出ている障害物があるので注意する。

● 手順 3 : ゴールライン・タッチラインを引き、中央のポイントをとる

ラインの外側が、ピッチのサイズになります。

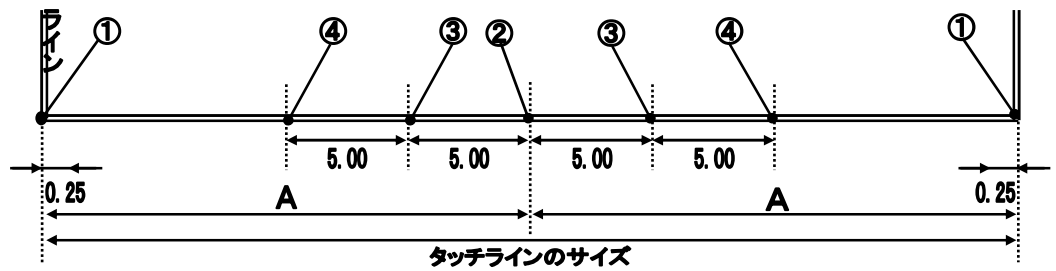


注意事項 : 体育館の場合、既存の他競技のラインや床の板目等を参考に引くと引きやすい。
目安となる印(しるし)がない場合、メジャーやひもなどを当て、それに沿って引くこと。

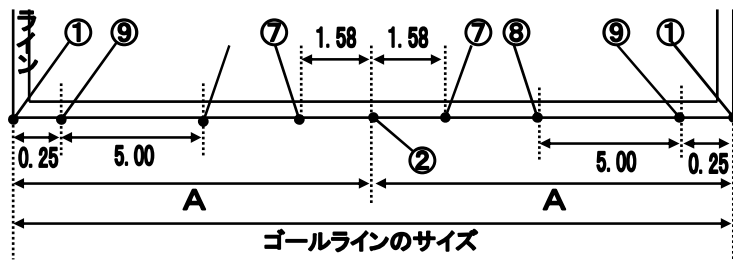
● 手順 4 : ポイントをとる

マジックペン、チョーク等で以下のポイントをとる。

タッチライン

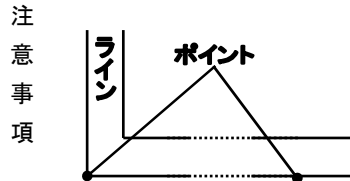


ゴールライン



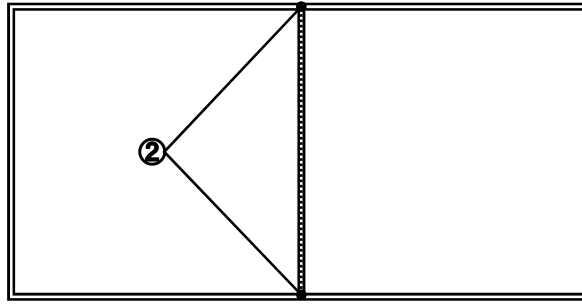
※ ③・④ポイントは、チームベンチ側のみ

注意事項 : ポイントは、ラインの外側になります

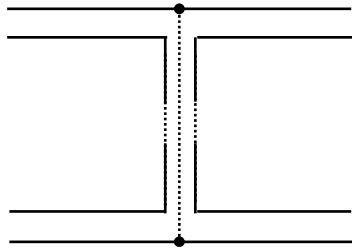


● 手順 5 : ハーフウェーラインを引く

手順 4でとった双方のタッチラインの②ポイントを結び、ハーフウェーラインを引く。

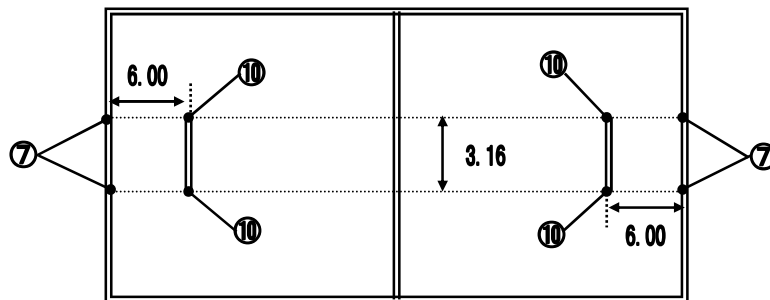


注意事項 : ポイントがラインの中央になるようにする。

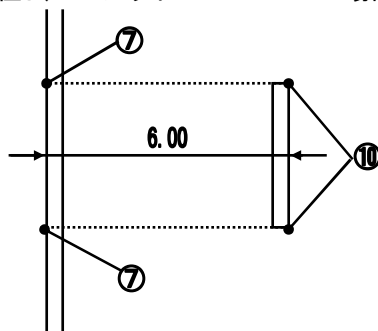


● 手順 6 : ペナルティーエリアラインを引く

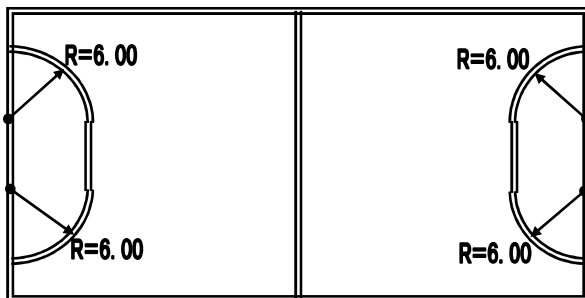
(1) 手順 4でとった双方のゴールラインの⑦ポイントを結び、以下⑩のポイントをとった後、ポイント間のラインを引く。



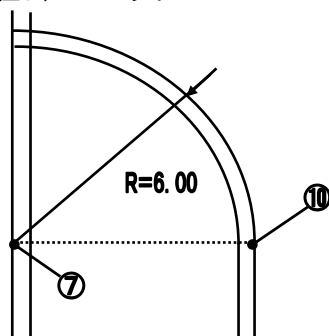
注意事項 : ポイントの始点はゴールラインの外側。ポイントの終点はラインの外側になるようにする。
但し、ゴールラインが 15~16m の場合、6m ではなく、“4m” となる。



(2)手順 4でとった双方のゴールラインの⑦ポイントから半径6mの1/4円ラインを引く。



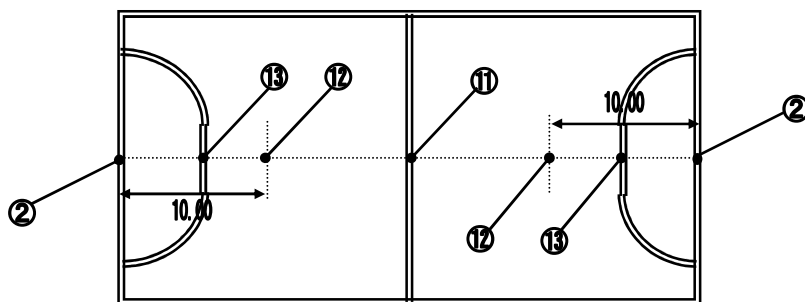
注意事項：ポイントの始点はゴールラインの外側。ポイントの終点はラインの外側になるようにする。但し、ゴールラインが15~16mの場合、6mではなく、“4m”となる。



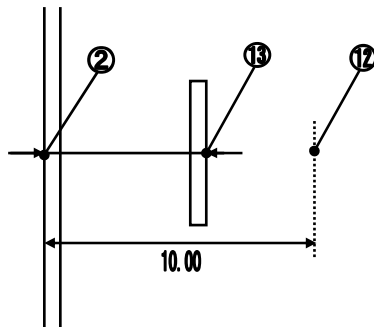
● 手順 7：スポットをとる

(1)手順 3でとった双方のゴールラインの④ポイントを結び、以下のポイントをとる。

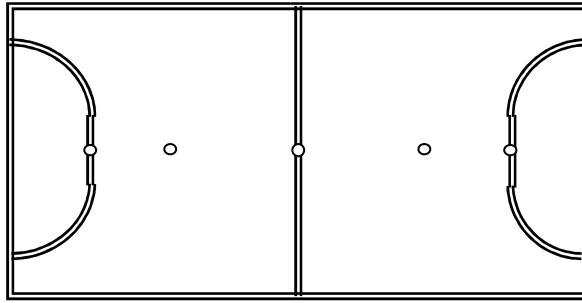
- ・センタースポット
- ・ペナルティーマーク
- ・第2ペナルティーマーク



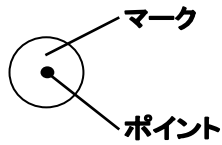
注意事項：ペナルティマークのポイントの始点はゴールラインの外側。ポイントの終点は、マークの中心になるようにする。



(2)(1)でとったポイントにしるしを貼る。



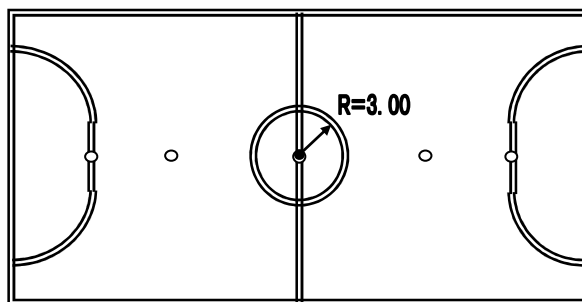
注意事項：各ポイントが、スポットの中心になるようにする。



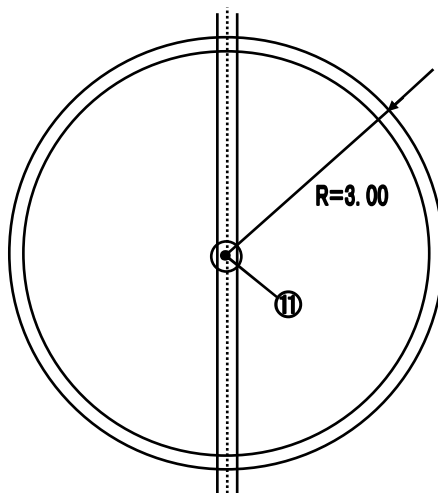
※センターマーク、ペナルティーマークおよび第2ペナルティーマークは、直径20cmの円で描く

● 手順 8：センターサークルを引く

手順 5でとったハーフウェーラインの中央ポイントから半径3mの円ラインを引く。

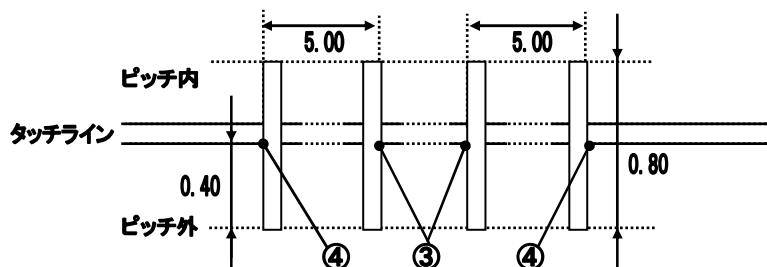


注意事項：ポイントの始点はゴールラインの外側。ポイントの終点はラインの外側になるようにする。



● 手順 9 : 交代ゾーンを引く

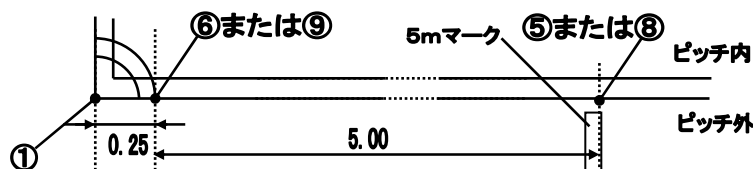
手順 4でとった③ポイントを中心にタッチラインと90°に交わる0.80mのラインを引く。



注意事項 : 0.80mラインの中心はタッチラインの外側であることに注意する。

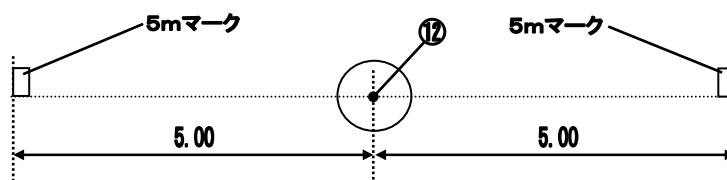
● 手順 10 : コーナーアーク、5mマークをとる

(1) コーナーからの5mマーク : 手順 3でとった双方のゴールライン・タッチラインの②ポイントのピッチ外に印を引く。5mマークは、短辺をラインより5cm離す。



注意事項 : ポイントの始点はラインの外側。終点は5mマークの外側になるようにする。

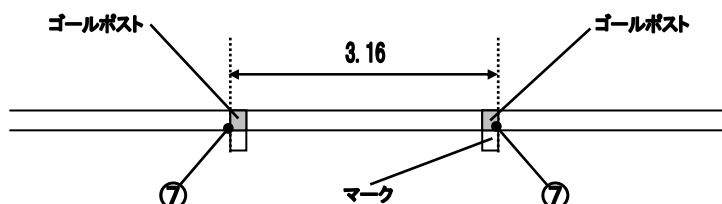
(2) 第2ペナルティーマークからの5mマーク : 手順7でとった第2ペナルティーマークから5mの地点に印を引く。



注意事項 : ポイントの始点は第2ペナルティーマークの中心。終点は5mマークの外側になるようにする。第2ペナルティーマーク直線上には口の辺の部分がくる。(5mマークは踏んではいけないマークとなります。)

● 手順 11 : ゴールポストの位置をとる

ゴールが固定できない場合、ゴールポストの位置にマークを付けておくと、ゴールが移動してしまう時などのアクシデントにも対応できる。



● 完成図 (例 : ゴールライン 20m × タッチライン 40m)

